



いよいよ7月です。梅雨もそろそろ明けて暑い日が続くようになるんでしょうかね？先月は比較的寒かったように思いますが、そのせいなのか作物の成長も全体的に悪いような気がします。事実、スーパーなんかで目にする野菜などの単価もずいぶん高くなったように感じますが、今年も半分終わっちゃいましたが、今後の天候が例年並みに持ち直してくれば「少しは改善される」と期待したいですね。



# 瓦版 7月号

発行 (株)カネマタ工務店

TEL 025-792-2560

FAX 025-792-7102

http://kanematak.com



## 豚の角煮 & 和風トスサラダ

- 【材料】 豚バラ塊肉 800g A酒 大さじ5  
 Aショウガの薄切り 1かけ分 Aほんだし 小さじ2  
 A水 4カップ A瀬戸の本塩 小さじ1/2  
 A砂糖 70g ほうれん草 1束(200g)  
 【作り方】 Aしょうゆ 大さじ5 練りからし 少々



(1) 豚肉を塊のままたっぷりの湯で2時間ほど弱火で柔らかくなるまで茹で、火を止めてそのまま冷ます。肉が冷めたら4cm幅、5cm長さくらいの大きさに切り分ける。

(2) 鍋にAと豚肉を入れ、1時間ほど弱火で煮込み味を含ませる。ほうれん草はサッと茹で4cm長さに切る。器に肉とほうれん草を盛り、残った煮汁をかけ練りからしを添える。



「豚の角煮」だけでは野菜不足。副菜で「和風トスサラダ」を加えてはいかがでしょうか。

- 【材料】 水菜 1株(40g) ・ 大根 4cm(80g) ・ ツナ油漬缶 1缶 ・ ゆず搾り汁 少々

- 【作り方】 (1) 水菜は4cm長さに切り、大根は4cm長さのせん切りにする。ツナ缶は油をきり大きめにほぐす。  
 (2) ボウルに水菜・大根・ツナを入れ、ゆずの搾り汁を加えトスする(混ぜ合わせる)。

## 最近めっきい見なくなりましたよね。。

先月、大きい「トノサマガエル」を久しぶりに目撃し、「そう言えば最近観なくなっちゃったな」と考えさせられました。そこで、以前にもシリーズで記事にしました魚沼の小動物シリーズを改めて調べてみたいと思います。

今回は「スナヤツメ」この辺では「カヨナギ」と呼ぶと思いますが、これを取り上げてみましょう。昔は池の泥濘いをするすると必ず何匹かは見掛ましたよね。ところが今ではいるのか、いないのかすらも解りません。

この種は鹿児島・宮崎県を除く九州以北の河川の下流域に生息しています。日本に生息するものは「北方種」と「南方種」に分けられ、この仲間は原始的な魚類とされますが、研究者によっては魚類ではないと言う方もいるようです。

近縁種にカワヤツメ(回遊型)がいますが、この種は何らかの原因で海洋との往来を阻まれ、非寄生性で河川型(陸封型)の集団が独立し本種に分化したと考えられています。本種は降海する事無く一生を淡水で生活します。

外見はウナギに似ており、幼生・成魚とも鰓が7つあり、口は丸い吸盤状で顎がありません。成魚の口器は吸盤の内側に3対の歯があり、20cm程度の大きさ。

スナヤツメは一生の殆どを目を閉じた状態で過ごし、産卵期にわずかに開く程度とのこと。この種は右表のレッドリストでの分類は「VU」に当り、これは絶滅危惧Ⅱ類、危急を意味します。つまり、稀にしか発見されない種であると言う事になります。



## 「隅田川花火大会」・2017.07.29

毎年7月最終土曜日に行われる「隅田川花火大会」。この大会は大飢饉とコレラの流行によって江戸で多くの死者が出た1732年(享保17年)、8代将軍・徳川吉宗が大川端(隅田川 河畔)で催した「川施餓鬼」(死者の霊を弔う法会)がもとで、翌年に幕府は川施餓鬼と合わせ両国の川開きの日に水神祭を実施しました。この際に花火を打上げたのがこのルーツとされています。

当時は20発ほどの数でかなりのんびりしたものだったようです。打上げは最初「鍵屋」が担当しその後鍵屋の番頭が暖簾分けで「玉屋」を創業。2業者体制となり双方が腕を競い合った。

鍵屋と玉屋は異なる場所から交互に打上げたため、観客は双方の花火が上がったところで良いと思う業者の名を呼んだ。これが花火見物でお馴染みの「たまやー」「かぎやー」の掛け声の由来と言われています。

毎年100万人近い人出が見込まれるこの大会は、桜橋下流から言問橋上流までの第一会場と、駒形橋下流から厩橋上流の第二会場で計2万発以上の花火が打ち上げられ同時に両国ゆかりの花火業者7社と、全国花火競技大会で優秀な成績をおさめた3社の計10社による花火コンクールも行われているそうです。



## 「T・M様邸」新築工事 中間報告

4月の後半から施工中の「T・M様邸」。外装もほぼ終わり、予定の工期よりも早いペースで進行中です。井戸の掘進も順調に進んでいるので「鮎」の解禁までにはこれも終わりそう。その後乗入の水路工事や、外部の舗装工事の準備を始めます。何とかそれまでに「梅雨」が明けてくれるとありがたいんですが、どうなるんでしょうね。

内部の躯体検査も先月中旬に無事に終了し、床の仕上材も貼られ既製品建具の枠組も完了しました。現在細かい所の造作作業が進んでいます。この新築現場の他にリフォーム工事に一斑二人で取り掛かっています。

予定通り今月から「第二現場」の解体工事も始まり忙しくなりそう。リフォーム工事を早く完成させ、この班から「第二現場」の準備を始めてもらいます。今年中に引っ越し出来るようにとの事なので、今後も「T・M様邸」の完成を極力早く実現させ、他に頼まれている仕事も並行して施工出来れば。と考えています。5月中半まではさほど忙しくはなかったのですが、雪消えから平均した仕事量であれば心配の種はなかったのに、なかなか思うようにはなりません。



7月 文月 2018年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	仏滅	大安 半夏生 三隣亡	赤口 地鎮祭吉日	先勝 上棟吉日	友引	先負 地鎮祭 上棟吉日	仏滅	大安 地鎮祭 上棟吉日	赤口	先勝 地鎮祭吉日	友引	先負 地鎮祭 上棟吉日	赤口 三隣亡	先勝 地鎮祭 上棟吉日	友引 地鎮祭 上棟吉日	先負 海の日 地鎮祭吉日	仏滅	大安	赤口	先勝 夏土用 地鎮祭 上棟吉日	友引 地鎮祭 上棟吉日	先負	仏滅 大暑 地鎮祭吉日	大安 土用の丑 の日 地鎮祭 上棟吉日	赤口 三隣亡	先勝 上棟吉日	友引	先負 地鎮祭 上棟吉日	仏滅	大安 三隣亡	赤口